



秋冬ブロッコリー

やさいの里営農センター
営農指導員 宇井 文英

農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural-work technical diary



秋冬ニンジン

山武経済センター
営農指導員 小関 和彦



施肥量は、早生種・中生種・晩生種の作型ごとに施肥設計を行います(表



施肥

若苗定植を励行しましょう。また、老化苗の定植は厳禁です。
定植の目安は、セル苗128穴で3〜4枚、育苗日数25〜30日、大苗5〜6枚、育苗日数30〜35日となります。



定植

大苗育苗では、高さ1m程度の平畝に十分な散水をし、地温を下げてから播種します。発芽適温は25℃で、地温を下げるため黒寒冷紗を二重掛けにし、本葉2枚時で寒冷紗一重、本葉3枚で除去します。

年内取りの品種としては、「おはよう」「サマードーム」等があります。年明け取りの品種として「おはよう」「ブランドドーム」等がありますが、「ブランドドーム」はアントシアンの生成に注意してください。



育苗

年内取りの品種としては、「おはよう」「サマードーム」等があります。年明け取りの品種として「おはよう」「ブランドドーム」等がありますが、「ブランドドーム」はアントシアンの生成に注意してください。



品種選定

生育ステージに合わせた肥培管理が重要となります。



肥培管理

良質のニンジンを作る上では、完熟堆肥や緑肥の施用による土壌改良が必要となります。その反面、コガネムシ類の幼虫やネキリムシの発生が増える傾向にあるので、フォース粒剤(10kg当たり4〜12kg)やDC油剤(10kg当たり20kg)で防除してください。例年、ヤケ、しみ、アザの発生しやすい圃場では、しみ腐れ病に高い効果を発揮するユニフォーム粒剤を10kg当たり18kg全面土壌混和すると、品質向上が望めます(写真①参照)。



圃場準備

「おはよう」栽培は、①土づくりとして完熟堆肥または緑肥を施用する、②化学肥料由来の窒素量を、成分で10kg当たり7.5kg以下とする、③化学合成農薬の総使用回数を8成分使用回数以下(使用成分×回数)とする、という3点を満たすことにより、認証を受けることができます。



薬剤消毒

①発芽〜本葉3葉期前後の初期生育期(播種〜20日前後)は、発芽の安定と生育のそろった根茎を確保するため、播種前後の圃場の水分確保(乾燥防止など)が重要なポイントとなります。

②本葉4〜7葉期の根形形成期(30〜50日前後)は、根部の肥大・充実に備える重要な時期で、最も水分と肥料を必要とする時期となります。

③本葉8葉期以降の肥大充実期(70〜100日前後)は、地上部(茎葉)が過繁茂にならないよう肥培管理を行う。



写真② ホウ素欠乏症

花蕾内部に空洞が発生する症状です。気温が高い、追肥等の多施用による窒素過剰が主な要因とされています。

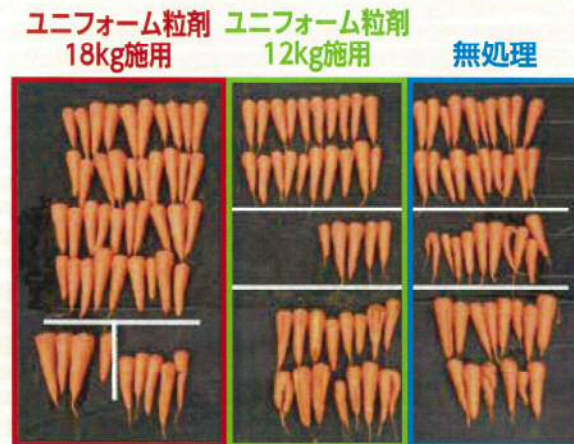
ホウ素欠乏症(写真②)

花蕾内部にかさぶた状の斑点が形成される症状です。土壌pHが高い場合や、乾燥でホウ素が吸収できない場合に発症します。



主な生理障害

②参照) 中早生〜晩生種は、早生種よりも元肥を2割ほど減らし、追肥の回数と量を増やしましょう。



写真① ユニフォーム粒剤の施用試験結果(例)

正品
その他外観不良
しみ腐れ病

①発芽〜本葉3葉期前後の初期生育期(播種〜20日前後)は、発芽の安定と生育のそろった根茎を確保するため、播種前後の圃場の水分確保(乾燥防止など)が重要なポイントとなります。

②本葉4〜7葉期の根形形成期(30〜50日前後)は、根部の肥大・充実に備える重要な時期で、最も水分と肥料を必要とする時期となります。

③本葉8葉期以降の肥大充実期(70〜100日前後)は、地上部(茎葉)が過繁茂にならないよう肥培管理を行う。



病害虫防除

近年、8月下旬〜9月にかけて台風の影響や降雨が多く、黒葉枯病の発生要因となっています。圃場の排水対策も必要ですが、表①を参考に、適宜防除に努めてください。

①土寄せ
本葉5葉期前後の土寄せは、茎葉と根部の境界部分を保護することにより、「エフボ」の発生を予防します。また、年明け以降に収穫を行う場合は、凍障害を防ぐため、12月上旬までに土寄せを行います。

表① ニンジンの病害虫防除例

対象病害虫	使用時期	使用農薬	倍率	使用時期	使用回数
黒葉枯病	9月中〜下旬	ポリオキシシンAL水和剤	500倍	7日前まで	5回以内
黒葉枯病	10月上旬	カスミンボルドー	1000倍	14日前まで	2回以内
マメハモグリバエ	10月上旬	アフーム乳剤	2000倍	前日まで	3回以内
黒葉枯病	10月中旬	ストロビーフロアブル	2000〜3000倍	7日前まで	3回以内

※降雨が多い場合は防除回数を増やしてください。

4月の分析経過について

残留農薬分析点数	多成分一斉分析	合計6点	
		春ナス	ミツバ
残留農薬分析点数	多成分一斉分析	春ナス	1点
		ミツバ	1点
		春ブロッコリー	1点
		サトイモ(ちばエコ)	1点
		リーフレタス	1点(インショップ)
		キュウリ	1点(インショップ)

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 合計23点

表② 秋冬ブロッコリー施肥基準(早生種) [10a当たり]

元肥	肥料名	成分	施肥量	備考
	粒状セルカ	アルカリ分47%	120kg	
追肥	マルチサポート2号	総合微量元素	60kg	定植10〜14日後に施用、中耕培土
	苦土重焼燐	0-35-0	40kg	
	さんぶジシアン有機806	8-10-6	200kg	
	さんぶジシアン有機806	8-10-6	30kg	